

# 2018年度活動計画

## ◆ ◆ ◆ 2018年度エファジャパンの指針 ◆ ◆ ◆

エファジャパンは国際協力 NGO として、世界的な目標でもある SDGs（2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標）の実現に向かって支援事業を行なっています。「2030年までにだれ一人取り残さず、世界の中から貧困を無くすこと」-エファジャパンが支援する子どもたちもこの目標が達成できるよう、中長期的な視野を持ち、活動に邁進していきたくと考えています。

上記のような事業活動を実現するために、財政的には安定した財源を継続的に確保することが重要だと考えています。そのためには、会員拡大、助成金申請、寄付金の拡大を念頭に、広報活動や各種助成金の申請、そして関係各所への事業の丁寧な説明を行なっています。また、これまでの事業内容、実施状況を厳しく査定し事業計画を策定します。

- 1) 事業計画にない事業は、基本的に実施しない。
- 2) 自己資金による事業を縮小する。
- 3) 支援事業に対する使途や効果が不明確な資金の運用を洗い出し、事業自体の継続の必要性や投入額の妥当性について検討していく。
- 4) 支援事業の計画策定にあたっては、その費用対効果などを十分な調査・検討を事前に行う。

以上のように、財政的にしっかりとした態度をもって業務にあたり、より効果的な支援活動を実施するため、積極的に挑戦していきます。

子どもたちがその持てる力を存分に発揮できる社会の実現のため、子どもたちの笑顔が一つでも増えるため、活動を続けてまいります。

引き続き、みなさまのご支援ご協力をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

## ベトナム活動計画 Viet Nam

### ★新規事業

- ・ハイフォン市ソーシャルワークセンターが行なう自閉症児スペクトラムなどの療育活動に関し、情報収集や実態調査を行います。

近年ベトナムの障がい児支援では身体障がい児者へのサポートや障がい児者の地域参加と共に、自閉症スペクトラムや発達障がい、精神障がいの早期発見・療育が重点課題となってきました。そこで、エファジャパンでもハイフォン市内で、「自閉症児」への支援のニーズが高まっていることからこの事業の調査を始めます。

- ・ハイフォン市在住の日本人向けにエファの支援場所を訪問する視察ツアーを実施します。

エファジャパンの活動をベトナムに在住している駐在員の方々にも知っていただき、支援者層を国内だけでなく現地にも拡大するためにこの事業を計画しました。

### ★継続事業

- ・ベトナム・ハイフォン市の障がい児の生活の質を高めるため、ハイフォン市の6つの障がい児クラブの活動支援、また経済的に困難な若者たちの学業、生活のためアジア子どもの家奨学金基金事業を継続していきます。

## ラオス活動計画 Laos

### ★新規事業

- ・ビエンチャン都立図書館の広報活動に関する支援事業を実施します。

利用者の減少など、様々な問題を抱え、市民に開かれた公共図書館という点でまだ課題が残っています。今後、市民に開かれた魅力のある図書館の存在感を示し、市民の認知度を高めるため、この事業を計画しました。

### ★継続事業

- ・ラオスの子どもたちの未来のためラオスの「書籍」に関する環境が整うように、ビエンチャン都立図書館の運営支援、国内の小中学校の学校図書室への支援、ラオス図書館協会の運営支援、また伝統継承と情操教育のための、子ども文化センターへの支援を継続していきます。

## カンボジア活動計画 Cambodia

### ★新規事業

- ・国境地帯 - プレアビビア州の寺子屋教室の一つ、イエン村の教室にトイレを新設します。

小学校の6年生までの全課程を修了するプログラムを進めているパイロット事業対象の寺子屋教室であり、多くの子どもたちが集まってきていることから、衛生的に必要であるという同教室の先生から強い要望がありました。

- ・プノンペン近郊のカンダール州において、就学前教室という形で運営していた非公式教育施設を、現地のニーズとより合致した、学童保育所に形態を変更します。

### ★継続事業

- ・カンボジアの子どもたちが安心して暮らしていけるようになるため、児童保護施設の運営支援、また多くの子どもたちが教育を受ける機会を得られるように、寺子屋教室の運営支援を継続していきます。また、幼児期の子どもの情緒を育む就学前教育の専門家を輩出している国立幼稚園教員養成校の支援を継続していきます。

## 国内活動計画

### ★新規事業

- ・エファジャパンの活動を認知してもらえよう、主催イベントを実施します。
- ・団体紹介用の動画制作やグッズの制作を行ない、さらに広報事業の基盤強化をより図るため、ウェブサイトや広報誌のリニューアルを視野に入れ、NPO 法人対象の組織基盤強化助成金などへの申請も検討します。

### ★継続事業

- ・会員のみなさま、パートナーのみなさま、自治労関係のみなさまにより分かりやすく、親近感を持ってもらえるよう、各種イベントへの参加やPR活動を継続していきます。
- ・さらに多くの方々に会員やエファパートナーになってもらえるよう、国内事業を継続していきます。